



全労連青年部ニュース

YOUTH TOPIC

つながる・たたかう・支えあう青年部を

ホームページ<http://www.zenroren.gr.jp/jp/seinen/>ブログ<http://blogs.yahoo.co.jp/zenrourenpower>

全労連青年部とは??? 9単産19地方組織の青年部が集まって、青年労働者の声を集め、学習や最低賃金引き上げ、他の青年団体と一緒に雇用、核兵器廃絶・平和などの問題に取り組んでいる労働組合のナショナルセンターです。



みんなで応募しよう「学習企画コンテスト」締切 8/29 (金)

全国各地方・単産で取り組まれている学習企画、それぞれの企画は「どんな取り組みなんだろう。なんでその企画やろうと思ったんだろう。工夫も苦労もあったんだろうな」と、もっと詳しく知りたいと思ったことはありませんか? そういう願いを実現させようという事で企画を立てました。この一年間どんな取り組みが行われたか全国で共有出来るようにしたいと思います。そして各取り組みを参考に青年部の活性化につなげていきたいと思い「学習企画コンテスト」の開催を決定しました。

9月に予定している定期大会では応募のあった学習企画を表彰します。豪華景品を用意していますので奮ってご応募よろしくお願いします。

応募詳細は 全労連青年部HPより [【http://www.zenroren.gr.jp/jp/seinen/index.html】](http://www.zenroren.gr.jp/jp/seinen/index.html)

一部来た学習企画の一部紹介します。

<岐阜県労連>

Q. なぜその学習会を企画しましたか?

世代間や団体間の活動の壁をなくし、あまり平和について考えたことの無い、または全く関心を持っていない(興味が無い)と思われる20代から30代の青年層の人達に少しでも平和の大切さや憲法について関心を持ってもらうことがこれからの岐阜の平和活動を考えていく上において、最も重要な課題になると判断し、キッカケ作りのための場として様々な世代がだれでも気軽に楽しめると思われる、音楽を使った学習イベント「KEN'S CLUB」を企画しました。

Q. 企画するにあたって、運営で工夫した点は?

- ・月1で実行委員会を開催し、実行委員対象に憲法についての学習会などを行ないました。
- ・いままで平和活動に取り組んだ事の無い人達にも簡単に足を運んでもらえるようにする為、イベント自体がただの学習会や押し付けにならないようにする事が重要だと考え、実行委員会側も楽しみながら企画・運営を行なうように心がけました。チラシも他の音楽イベントのフライヤーを参考にして、あまり学習の雰囲気を出さないように工夫しました。

《以下、詳細はこうご期待》

<大阪労連>

○学習会名称 (模擬団交学習会)

○主催者 (大阪労連青年部)

○対象者 (大阪労連加盟組織の青年組合員)

Q. 苦労した点は?

初めてのことであるので、対象者をどうするか、ストーリー仕立てにするのか、全てアドリブで行うのか、団交の資料などは用意するのかというところから全く分からず、青年部で団体交渉に出たことのある組合員に実際の団交申し入れ書や要求書を持ち寄ってもらい、模擬団交のネタ作り。労働法に詳しい青年組合員と打ち合わせを行って、おかしい所やつじつまが合わないところ、解釈しにくい部分などをチェックしてもらった(それでもまだ穴があった…)。

単産・職種によって要求は様々なので、統一した模擬団交の開催は非常に難しい。よっていわゆる「青年労働者」の要求(ex: 低賃金、長時間労働、不安定雇用など)に題目をしぼることになる。

また、実際に模擬団交を行った結果、経営者側を労連本体の事務局長や労基法に詳しい青年組合員にやってもらったため、経営者としては大成功したが、なんせ賢すぎて、労働組合側の青年組合員たちでは勝てない。本当に勝てない。途中から「どうやって収集つけよう」と思うくらいに勝てない。

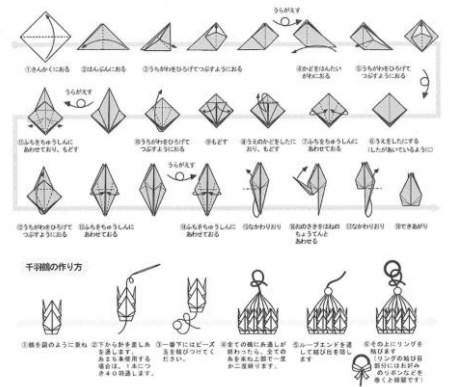
最終的に、「こういう所がポイントなので、こう考えて、こう返そう」というミニ学習会を最後にやって、青年の学習にできた。めっちゃ勉強になった。

《以下、詳細はこうご期待》

鶴を折って広島へ届けよう大作戦

来年2015年NPT再検討会議がアメリカ・ニューヨークで開催されます。全労連青年部第26回定期大会では、NPT再検討会議に向け、核兵器廃絶の運動を広げることを確認し、「核兵器なくせ」大作戦と銘打ち、①「おりづる」作成の取り組み、②署名・宣伝・学習の取り組みを呼びかけます。

署名行動では青年が3名以上参加する署名活動をすべての都道府県で取り組めるようにしましょう。また、2014年原水禁世界大会(8月4日～9日 広島・長崎)に多くの青年の積極的な参加を呼びかけるとともに、青年はもとより、多くの人に平和を考える取り組みとして、「核兵器なくせ」大作戦①「おりづる」作成に取り組み1羽でも多く集め広島で献納しましょう。



組織実態調査に協力を

全労連青年部では全国に青年の組織を作りたいと思っています。その為にもそれぞれの地域、団体での青年の取り組み実態を把握することが必要だと思っています。今後の青年部づくりや青年労働者の要求実現・組織化を進めるために青年部の確立していない組織も含めて全ての組織でご協力をお願いします。また次回の定期大会での青年分野での活動状況や変化をつかみ活動方針を作ります。そのためにも必ず記入し返信をお願いします。

若者が怒りの声をあげた若者憲法集会

「声をあげよう 私たちの命と自由のために」ー「若者憲法集会」が6月22日全体会1056人の参加で行われました。主催は若者でつくる「若者憲法集会実行委員会」で全労連青年部はじめ16団体の青年が、午前中8ヶ所で分科会、午後は全体会を「めぐろパーシモンホール」で行いました。全体会の開会あいさつで民青同盟委員長の田中さんは、「私たちは、自分たちの視点から憲法の価値をとらえ、自分たちの言葉で憲法を発信していく運動を全国に広げていきたい」と準備してきた経過を語り「憲法を活かす道こそ、自分たちが希望をもてる未来をひらく道だ」と訴えました。

分科会一覧

- 第1 秘密、弾圧だらけの社会でいい!?
- 第2 アジアの若者と考える平和主義と安全保障
- 第3 憲法でつこう「健康で文化的な生活」
- 第4 どうしたらできる?女性が生きやすい社会
- 第5 歴史の真実を知りたい、伝えたい——教育と自由を考える
- 第6 靖国神社フィールドワーク
- 第7 学生企画「紛争解決のプロと話す集団的自衛権」
- 第8 高校生企画「落語で楽しく憲法を学び、交流しよう」

全体会のオープニングでは、スライドと開会あいさつ、続いてイラクで支援活動している高遠さんと若手弁護士の黒澤さんによるシンポジウム、運動交流等が行われました。凄惨(せいさん)な戦場の実態を目の当たりにしてきた高遠さんは「戦場で武器は人の命を守る“お守り”にはならない、戦場で誤って民間人を殺害してしまうおそれもある。」と、集団的自衛権行使の危険を指摘。「憲法9条を持つ平和の国、日本だからイラクの人たちに受け入れられて、支援もできた」と語りました。黒澤さんは、「私たちの人権や自由を守るために、国家権力をしぼるのが憲法」と、ほかの法律との違いを紙芝居で分かりやすく紹介。憲法や政治を自分たちのこととして実感をもって考えてもらえるように伝えていることを紹介しました。



全体会後には渋谷でセンター街などをサウンドカーやドラム隊に合わせてデモを行いました。デモでは沿道からの参加を含め800人ほどが参加し「憲法守れ」「9条守れ」「解釈改憲反対」などとコールしました。翌23日は国会要請行動を行いました。要請行動では約70名の青年が参加し、内閣府はじめ担当委員会の議員に要請をしました。